



学校だより

西寺尾第二小学校

4月号

令和6年4月8日

やりたいことができる学校目指して 「夢・希望・活力ある学校」

校長 宮崎 里子

正門横の桜を眺めるのは、副校長で勤務した時から数えて4回目の春です。

令和6年、西寺尾第二小学校長として3年目となりました宮崎里子と申します。まず、巻頭にて3月19日(火)令和5年度卒業証書授与式を執り行うことができた御礼をご報告いたします。

卒業生111名は保護者様、ご来賓PTA会長佐々木洋子様、神之木西寺尾連合町内会長佐藤潮様、地域の皆様に見守られて緊張と喜びがないまぜになりながら、卒業証書を受け取りました。子どもたちを送り出すこの佳き日は、私たち教職員にとって最高のご褒美の一日です。私たちは、子どもたちの旅立ちの姿に勇気をもらい、また、これからもがんばっていこうと奮起するのです。

さて、本日4月8日(月)は久しぶりに登校した2~6年生の子どもたちと始業式を行い、担任や新しい教職員との出会いに笑顔がほころびました。また、入学式では新たに118名の1年生を迎えることができました。こんなに小さくてかわいい1年生が6年間で先日の卒業生のように育ちゆくとは、子どもの6年間ってすごい、素晴らしい。そして、この大切な時間を、保護者・地域の皆様と一緒にお子様の成長を喜び合うことができる幸せをかみしめ、私たち教職員一同は自分の力を尽くしていきたいと気持ち新たに感じ入っています。本年度加わった新たなメンバーも含め、どうぞよろしく願いいたします。

令和6年度の全校児童は683名、通常学級22学級、個別支援学級5学級です。本年も学級増となり、1~4年生は各4クラス、5,6年生は各3クラスとなります。この度教室が足りなくなり、力棟の視聴覚室であった場所に新教室が2クラス開設され、4年3組、4組が使用することになります。

また、本校は本年度創立59周年を迎えます。子どもたちは来年の60周年という節目の年を見込んで、すでに様々な活動に取り組み始めています。「第二小音頭を復活させてみんなで踊りたい。」「学校の創立を手作りのお神輿で祝いたい。」そんな子どもたちの姿を今後学校だよりやホームページでお伝えをしていきます。お子様がさらに主体的で探究的な学びに向き合い、自分の思いを伝え合うことができる教育を目指して生活・総合科の研究を大切にしていきたいと考えています

生活・総合科は重点研究として取り組んで3年目を迎えるところです。昨年クラス単体の取組が学校全体に波及するようになってきました。自分達が育てた野菜を給食で調理してもらい、全校のみんなに提供するブームも到来し、子どもたちの大きな喜びとなりました。公園の清掃やビオトープづくりなど、クラスの様々な取組を動画でまとめ、全校のみんなに知ってもらう活動も盛んに行われ、積極的に他学年と交流するようになりました。学校全体をステージとして自分たちの取組を発信できるようになったことは大きな成長だと思っています。学校はファミリーです。学校の中で安心して活動できる力は高学年になると学校から飛び出し、街を想い、この街で育つ自分たちに何ができるか考える力に育っていきます。

「あそこにはやってはいけないことと、やらなければいけないことしかないから、もう行かない。」こんな言葉をつぶやいた子どもが世の中にいるそうです。「あそこ」は「学校」だそうです。

「学校」ってそんなところだけ?夢を語り、希望をもって、友達や大人と力を合わせ自分の思いを形にできる、学校は「やりたいことができる」そんな場所であってほしい。「そんなの、無理。」と大人が決めつけずに、子どもと相談しながら、子どもの思いを膨らませ、実現をサポートしていきます。

保護者・地域の皆様のご理解・ご協力の下、子どもたちを励まし、応援していただきたく思っています。

私ども教職員と共に歩んでくださいますよう、心よりお願い申し上げます。